



古石

後援会だより

URL: <http://古石.com/>

第 4076号
発行 令和4年4月
古石ひでさと後援会事務所
岩見沢市橋向南1条1丁目
TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などありましたらお聞かせください。

E-mail: furuishi@gray-plala.or.jp

知床遊覧船 ついに死亡者全員

荒れた海 問われる判断

知床の観光船

船長、現場海域不慣れか

座礁など昨年事故2回

知床半島で小型観光船「KAZU I」(カズワン)が消息を絶った事故は、地元漁業者が目を覚ました。天候急変が想定される中、約3時間の航行は、危険性が高いと、地元の観光業者らの警告も明らかになった。カズワンの船長は昨年2回の座礁事故を起こしており、一貫した不慣れと指摘された。カズワンの船長は昨年2回の座礁事故を起こしており、一貫した不慣れと指摘された。

「波が高く、エンジンをストップし、船を揺らす。ウトロ港を出発し、知床半島で約3時間の航行は、危険性が高いと、地元の観光業者らの警告も明らかになった。カズワンの船長は昨年2回の座礁事故を起こしており、一貫した不慣れと指摘された。」



運航会社 2隻所有、3コース

【斜里】運航会社の人が、乗っていた観光船「KAZU I」(カズワン)の船長が、昨年2回の座礁事故を起こした。船長は、2隻の小型観光船を運航する。カズワンは、2001年に設立された。知床半島を航行するコースは3つあり、1つは斜里からウトロまで、2つは斜里から知床岬まで、3つは斜里から知床半島の先端まで。船長は、昨年2回の座礁事故を起こした。船長は、2隻の小型観光船を運航する。カズワンは、2001年に設立された。知床半島を航行するコースは3つあり、1つは斜里からウトロまで、2つは斜里から知床岬まで、3つは斜里から知床半島の先端まで。船長は、昨年2回の座礁事故を起こした。

時刻	内容
9時30分ごろ	同業他社が小型観光船「KAZU I」(カズワン)の船長に波の高さを理由に出港を中止するよう勧告
10時ごろ	カズワンがウトロ港を出発。知床岬まで約3時間で往復するコース
13時13分	同業他社が「カズワンがカズワンの運航近所で沈みかかっている。浸水しているというアマチュア無線を受信した」と119番通報。第1管区海上保安本部が対応本部を派遣
13時18分	カズワンから機務室で「船首が浸水、エンジンが使えない。カズワンの乗客は、救助船が118番通報。その後、1管本部が電話するもつながらず
13時30分	関係局がウトロで高さ約3mの波を観測。関係局が「運航関係者」が1管本部に「救命胴衣は全員着ている」と通報
13時47分	カズワンから運航会社の知床遊覧船に「船首が30度ほど傾いている」と連絡。以降、カズワンからの連絡が途絶える
14時ごろ	知床遊覧船が網走港に14時ごろを最後にカズワンからの連絡が途絶えた上と連絡
14時55分	海保ヘリが現場付近に到着し、捜索を開始
16時30分	監視船1隻が到着。以降、監視船6隻、航空機4機で捜索
17時55分	運航航空機がカズワンが消息を絶った地点から約14°、離れた知床岬先端で最初の3人を発見
5時19分	ウトロ港と斜里第一漁協の漁船計8隻が捜索に出発
9時55分	航空自衛隊が10人目を発見
17時	1管本部が発見した10人全員(男性7人、女性3人)の死亡を確認したと発表

知床沖観光船座礁水難救助本部(第一管区海上保安本部)の船長による

波の間 不明者どこに

【斜里】オホーツク管内斜里町の知床半島西側を航行中の小型観光船「KAZU I」(カズワン)が浸水し、乗客乗員26人が行方不明になった事故から一夜明けた。本報は、知床岬周辺の上空を訪れると、白波が立つ中、懸命な捜索活動が続いていた。

(内山 聖也)

知床岬周辺に移動し、上空を捜索していると、午前10時10分ごろ、低空でホバリングする自衛隊のヘリコプターを見つけた。それは、大型の海上保安庁の船もとらまわっている。

沿岸からの距離は数百メートルと推定される。波の中、ホバリングするヘリからはワイヤが垂れ下がり、ダイ

バリーを引き上げている。乗客とみられる人を収容し、た直後だったとみられて、ヘリはすぐにウトロ方面に向かった。ヘリは、斜里町の知床ワトロ学校のグラウンドに着陸した。担架を持った10人近い救急隊員が、急ぎで運んだのが、救急車はその後、グラウンドを走り去ったが、ほかにも4台が待機していた。知床半島の沖合を不明者の捜索に当たる航空機と船が、24日午前9時55分ごろ(本社ヘリから、岩崎撮影)



斜里町のウトロ漁港から不明者の捜索に向かう漁船
24日午前5時55分ごろ

